

あなたなら きっと できる！

# Yes、You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第6号 平成30年9月3日発行

## 2学期がスタート!!

いよいよ今日から2学期がスタートしましたね。暑い・暑い夏でしたが、皆さんはどのようにお過ごしでしたか。私たち教職員は、普段なかなかできない事業所や企業の見学をして、在学中にどんな力を育てる必要があるのか研修をしてきました。

### 夏休み職員施設見学会

#### ① 春里どんぐりの家

7月25日、高1Bコースの生徒が実習中の「春里どんぐりの家」に、校長、教頭、職員8名で見学に行きました。本校の卒業生が大半を占めるこの事業所ですが、一般就労を経験してきた方、指導員として働いてる方もいらっしゃいました。手話中心の会話で、気持ちがあっさり伝えられ、受けとめてもらえる環境の中で、ろう者として生き生きと働く様子を見ることができました。

下請けの仕事は、なるべく工賃が高く、皆ができる仕事を探し、常に数種類の仕事をしているそうです。販売品は、ネコばさみやホワイトボード、薄い木の板を組み合わせて作った皿やマグカップ、さき織等々、区役所等で販売しています。のばら祭で販売の予定もあるそうです。家族や本人の高齢化にも対応し、オハナハウスというグループホームもでき、生活面での支えも行っています。



### 夏休み職員施設見学会

#### ② 株式会社IH1

7月27日、豊洲にある(株)IH1に、校長と職員9名で見学に行きました。IH1は旧社名「石川島播磨重工業(株)」時代から大宮ろう学園と長いお付き合いがあります。

本社に着くとまず、広くてきれいな社屋に参加職員一同やや緊張してしまいました。会社概要の説明で、聴覚障害教員のために会社が用意してくれたUDトークは、音声言語を文字化するアプリですが、そのかなり正確な変換に驚き、学校にも欲しい、いえ、必要だと思いました。

次にIH1の歴史や事業内容がわかる

i-museを見学。この企業が日本の技術力の先頭に立っていることがよくわかりました。

最後は卒業生との懇談です。入社10年以上から2年目の5名が「学生時代に身につけておけばよかったこと」というテーマで話してくれました。あいさつ、日本語力に加え、健聴者との交流の機会がもっと欲しかったという声もありました。在学時に指導されてもピンと来なかったことでも、社会に出ればその必要性がわかるのでしょうか。先輩のこういう言葉を私たち教員がもっともって伝えなければならぬと思いました。

### ★AO入試・就職試験が始まります★

専2・高3の皆さんは8月末より入学願書や入社試験の書類送付など、大学入試や就職試験に向けて動き始めています。試験当日、自分の持っている力を出し切れるよう、しっかり準備をして臨みましょう。良い報告を期待しています。